習字

高等部

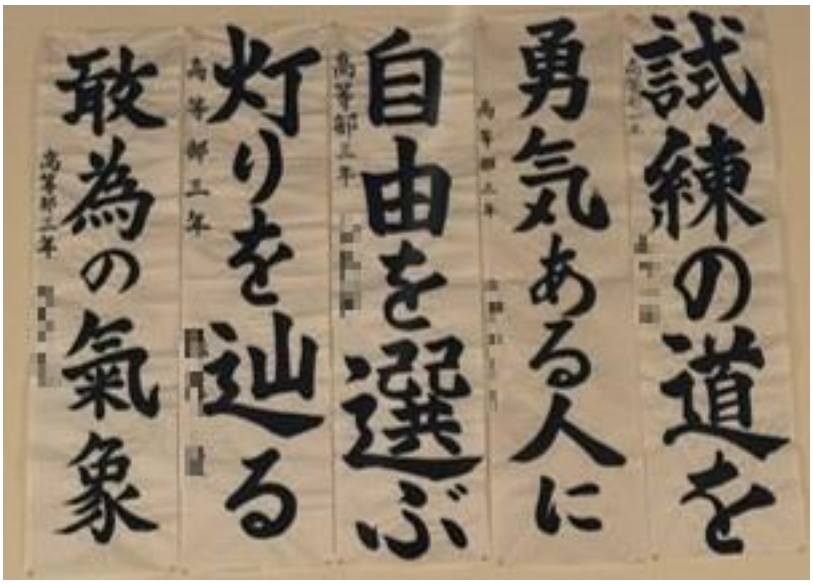
佐藤史伸

2025 年度の習字も、週に 1 回、生徒がそれぞれに考え、選んだ言葉を書にして取り組んだ。提出された習字は、佐藤史伸と松坂政広が解説を担当し、昼食時に高等部食堂に貼り出すとともに、「紹介したい習字」については食堂内のスクリーンに映写して紹介した。この方法は昨年度から継続しているもので、生徒一人ひとりが選んだ言葉や、その表現に込められた思いを、皆で共有する機会となっている。提出された習字は、集め物の委員が高等部食堂に貼り出し、習字解説を経て、東西の板壁に貼り直す作業を行った。自分の書いたものだけでなく、日々生活を共にする仲間がどのような言葉を選び、それをどのように表現したのかを見ることも、習字の時間が持つ大切な意味の一つとなっている。

今年度も、書き初めについては判の有無にかかわらず、高等部全生徒の作品を貼り出した。共学化初年度の昨年度、女子部・男子部それぞれで行われてきた書き初め掲示のあり方を受け継ぎながら、初めて高等部全生徒の作品を高等部講堂に掲示した。今年度はさらに在籍人数が増えたため、一か所にすべてを掲示することが難しくなり、二か所に分けて貼り出すこととなった。それでも、一人ひとりが新しい年を迎えて選んだ言葉が並ぶ光景には、一つひとつの作品を見るだけでは感じることのできない力があり、今年度も全員の書き初めを掲示できたことには大きな意味があった。

共学化から 2 年目を迎え、生徒数も増える中で、この学びを今年度も継続できたこと自体に確かな意義があったと考えている。

以下は、「人」「地」の評価を受けた作品。なお、生徒氏名の箇所は白塗りとしている。



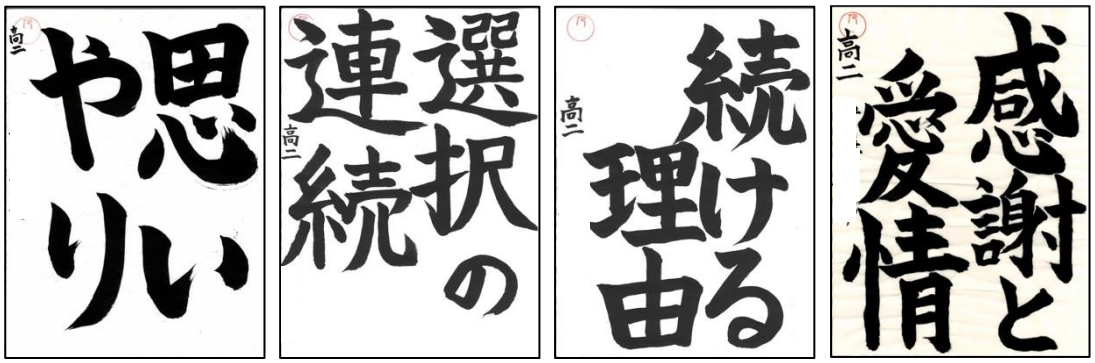
地の書き初め

高等部 1 年

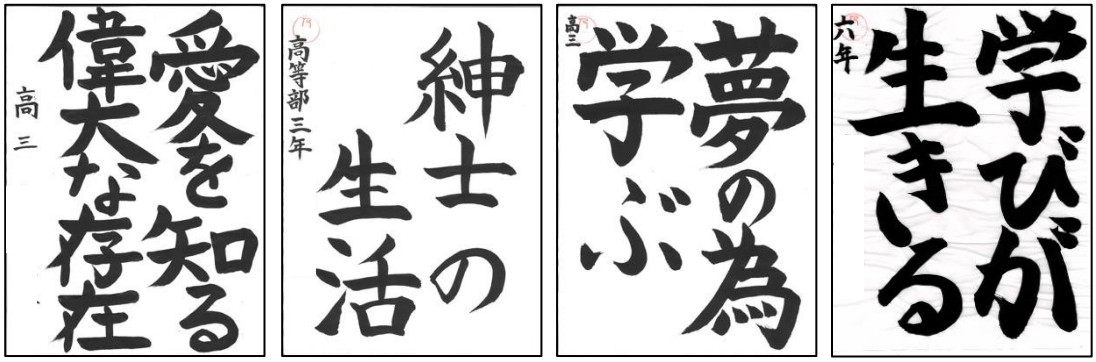

高一
感謝
高一
表現
高等部一年
私の光
高一
唯一無二
高一
素晴らしい大芝生
高一
上昇志向
高一
剛毅果断
一年
切磋琢磨

高等部 2 年

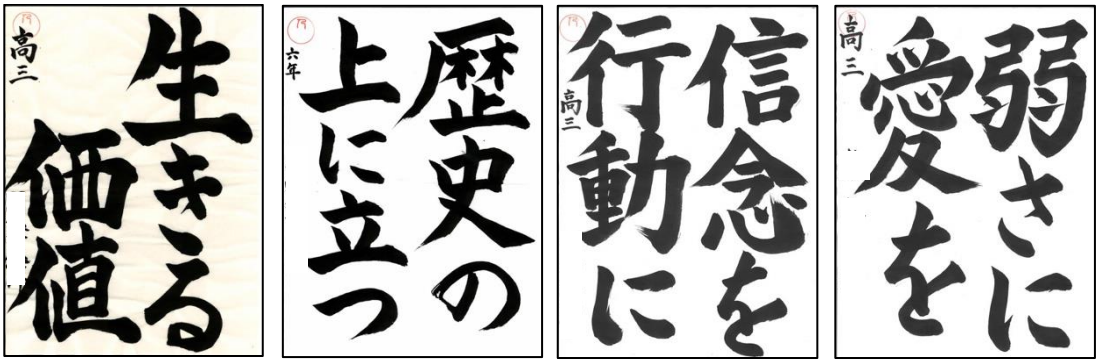

高二
魂
高二
霜月
高二
誇り
五年
謙虚
高二
聖夜
高二
謙虚
高二
私の夢
高二
祈り花


感謝と愛情
高二
続ける理由
高二
選択の連続
高二
思いやりい
高二

高等部 3 年


学びが生きる
六年
夢の為学ぶ
高三
紳士の生活
高等部三年
愛を知る偉大な存在
高三


立志
高三
機を待つ
六年
風を聴く
高三
目指す自由
高等部三年


弱さに愛を
高三
信念を行動に
高三
歴史の上に立つ
六年
生きる価値
高三